

第四回研究会報告

第四回在京研究会を九月十一日夜、本郷学士会館で開催した。

十九回大会で共同討論の司会をお願いすることとなつた柿崎京一会員より「村落研究の方法をめぐつて」報告をお願いした。出席者は次の各会員でした。吉沢、島崎、小池、高山、中野、安原。

柿崎会員の報告は共通課題をめぐる従来の論議をふりかえるとともに、前年度大会における共通課題報告者三会員が本年度年報によせた報告論文では、大会における口頭報告をさらに展開した部分が見られ、これを整理紹介することにより、本年度大会の討論の展開に資したいとの趣旨からそれぞれの報告論文の主眼点が紹介された。これらの論文についてはすでに年報が刊行され、大会席上で御覧戴けると思うのでここではその紹介は訓受する。報告後種々討論がおこなはれ、午後九時散会した。

(事務局記)